

S-Stage キット 取扱説明書

製品番号 01-05-5096 (D-TYPE)

適応車種 モンキー R/RT (AB22-1000017 ~)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

使用燃料についてのご注意

このキットは、ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。キット取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

スパークプラグについてのご注意

スパークプラグは必ず C8HSA (NGK) または、U24FS-U (DENSO) に交換して下さい。尚、抵抗入りスパークプラグの場合は CR8HSA (NGK) または、U24FSR-U (DENSO) に交換して下さい。スパークプラグ電極部の焼け具合により個々に合った番数を決定して下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型2輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所で原付2種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

◎取り付けの際には、工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼される事をお勧め致します。

◎ボルト、ナット、ノックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

◎ノーマルキャブレターを装着される方は、エアクリーナーボックス及び、エアクリーナーエレメントは取り外さないで下さい。キャブレターを交換される方は、個々に合ったセッティングを行って下さい。この事柄を無視した場合、エンジントラブルが起り、重大な事故につながる恐れがあります。

◎燃料は必ず無鉛ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。

～特徴～

○ノーマル 50cc のシリンダーヘッドを使用したままで 88cc にボアアップが出来、HEAVY なエンジンフィーリングが体験出来るキットを NEW リリース。プラモデル感覚で EASY に組み上げて、楽しみながらエンジン構造の勉強が出来るストリートユースキットに仕上げました。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)

■作業を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)

■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)

※シリンダーヘッドは、必ず規定トルクで増し締めを行ってください。

■ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(事故につながる恐れがあります。)

■ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、酸化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通風の良い場所で作業を行ってください。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

01-02-517
ピストンキット

番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	ピストン	1	00-01-0014 (③ピン付)
2	ピストンリングセット	1	01-15-014
3	ピストンピン 13x36	1	00-01-0091 (④クリップ付)
4	ピストンサークリップ	2	00-01-0003 (6ヶ入り)
5	シリンダー	1	01-01-0241H
6	ヘッドガスケット	1	00-00-1147
7	シリンダーガスケット	1	00-01-0067 (2ヶ入り)
8	ヘッドカバーガスケット	1	00-01-0156 (2ヶ入り)
9	右サイドカバーガスケット	1	00-01-0157 (2ヶ入り)
10	左サイドカバーガスケット	1	00-01-0158 (2ヶ入り)
11	タペットキャップOリング	2	00-01-0034 (4ヶ入り)
12	エキゾーストパイプガスケット	1	00-01-0064 (2ヶ入り)
13	ラバーパッキン	1	00-01-0066 (2ヶ入り)
14	インレットパイプガスケット	1	00-03-0009 (3ヶ入り)
15	カムシャフト	1	01-08-0009
16	ロッカーアーム	2	00-01-0341

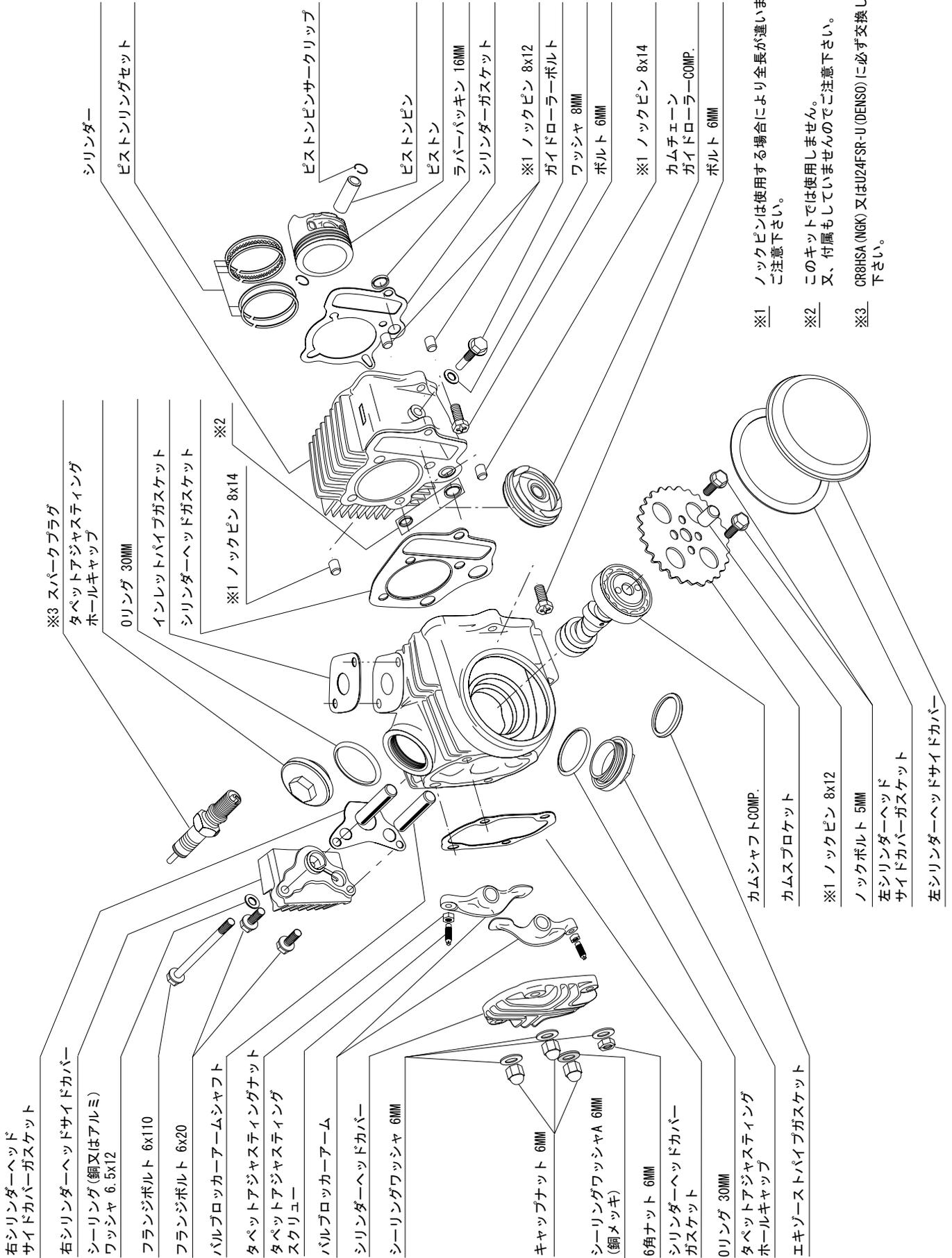
※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。

品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませ
お願い致します。

ボルトについて

- 普通、ボルトとナットは反時計方向へ回すと緩み、時計方向へ回すと締まります。
- ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まず指で締まる場所まで締めましょう。1～2回転でとまる場合は、ネジが斜めに入っている場合がありますので注意して下さい。
- ネジを緩めると言う事は、締まっている状態から反時計方向へ3～4回転回す事を言い、取り外すという事は反時計方向へネジが取れるまで回す事を言います。
- ネジを締めると言う事は、ネジが緩まないようにする事を言います。その目安をボルトごとに折れない・緩まない数値で表したのが締め付けトルクです。トルクレンチを用意する事の出来ない人は折れない・緩まない力で締められるのであれば試してみてください。但し、当社では責任は負いません。トルクレンチが無くてもどれぐらいの力で締めるのか・緩むのかは自分自身の経験と勘でしか補えません。
- 工具を正しく使用しない場合、ボルト・ネジ等のかかり部分が破損する場合があります。



- ※1 ノックピンは使用する場合により全長が違います。
ご注意下さい。
- ※2 このキットでは使用しません。
又、付属もしていませんのでご注意下さい。
- ※3 CR8HSA (NGK) 又はU24FSR-U (DENSO) に必ず交換して
下さい。

○キャブレターを取り外す

◇フューエルロックをOFFにする。



◇シリンダーヘッドとインレットパイプを止めているボルト2本を反時計方向に回して取り外す。



○エキゾーストパイプを取り外す

◇シート裏の後方にあるシート取り付けナットを反時計方向に回して外し、シートを外す。



◇マフラージョイントボルトを反時計方向に回して緩める。



◇マフラーを止めているボルトを反時計方向に回して外す。



◇マフラーをエキゾーストパイプから抜き取る。



◇エキゾーストパイプをフレームに止めているボルトを反時計方向に回して取り外す。
この時、フレームとエキゾーストパイプの間のパッキンは再使用するので、保管しておく。



◇エキゾーストパイプをシリンダーヘッドに止めている2個のナットを反時計方向に回して取り外す。



◇エキゾーストパイプをフレームから抜き取る。



○フロントフェンダーを取り外す

◇フロントフェンダーの4個のボルトを反時計方向に回して取り外し、フロントフェンダーを取り外す。



○スパークプラグを取り外す

◇プラグキャップをプラグから引っ張って取り外す。必ずキャップ部分をつかんで引っ張って外す。
◇車載工具のプラグレンチを使いプラグを反時計方向に回し取り外す。



○シリンダーヘッド左カバーを取り外す

◇シリンダーヘッド右カバーの真ん中の6角ボルトを外すと左カバーが外れる。
(ボルトを外しても外れない場合6角ボルトを2~3山ねじ込み6角ボルトの頭をハンマー等で軽くたたくと外れる)



○クランクケース左カバーを取り外す

◇クランクケース左カバーを止めているボルト3本を反時計方向に回し取り外す。



○タペットキャップ2個を取り外す

◇タペットキャップ2個を反時計方向に回し取り外す。



○カムプロケットを取り外す

◇フライホイールのTマークとカムプロケットのOマークが各切り欠きに合う様にフライホイールを反時計方向に回転させて合わせる。



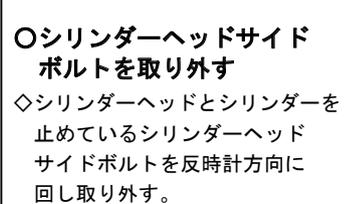
◇フライホイールを固定し、カムプロケット6角ボルト2個を反時計方向に回し取り外す。



◇カムプロケットを小型のマイナスドライバー等でこじて、カムシャフトから外す。



◇カムチェーンをカムプロケットから外してカムプロケットを取り出す。
◇カムシャフトの中心部にはまっているノックピンを外す。

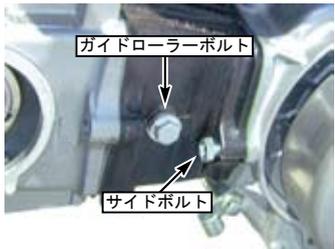


○シリンダーヘッドサイドボルトを取り外す

◇シリンダーヘッドとシリンダーを止めているシリンダーヘッドサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。



◇シリンダーのガイドローラーボルトとシリンダーとクランクケース間のサイドボルトを反時計方向に回し緩める。



○シリンダーヘッドカバーを取り外す

◇シリンダーヘッドカバーを止めているナット4個を対角の順番に反時計方向へ回し取り外す。
◇ナット下にあるワッシャ4枚を取り外す。



◇ヘッドカバーを取り外す。(かたい場合は、プラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す) シリンダーヘッドにガスケットが残った場合は、スクレーパーかカッター等できれいに取り除く。



○シリンダーヘッドを取り外す

◇シリンダーヘッドをシリンダーから前方へ引っ張って取り外す。(かたい場合はシリンダーヘッドをプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)



◇シリンダーヘッドを取り外す。
◇ノックピン2個は再使用するので取り外しておく。



○シリンダーを取り外す

◇緩めておいたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。



◇シリンダーを引っ張って取り外す。(かたい場合は、プラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外す)



◇シリンダーを抜く途中でカムチェーンガイドローラーが出てくるので取り外す。



◇ピストンが抜けたら、シリンダーを前方へ取り外す。



○ピストンを取り外す

◇クランクケースのシリンダーホールとカムチェーン部にゴミや部品などを絶対落とさないようにウエスを詰め込む。



◇ピストンサークリップの片側を取り外す。
ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるようにすると外れる。



◇ピストンピンをピストンサークリップが付いていない方向へ取り外す。ピストンサークリップの付いている方向からマイナスドライバーで押すと簡単にとれる。

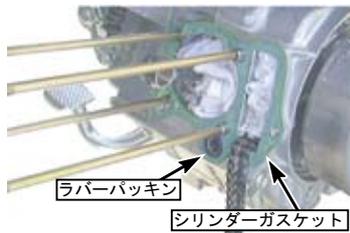


◇ピストンを取り外す。



○シリンダーガスケット・ラバーパッキン・ノックピンを取り外す

◇ガスケットがきれいにはがれない場合、クランクケースにキズを入れないようにスクレイパーやカッターできれいに剥がす。この時、クランクケースセンターガスケットがシリンダーベース面やシリンダーホール部にはみ出ている場合は切り取っておく。クランクケース内にゴミや部品などを絶対落とさないように。



◇写真の指さし部にはみ出ているガスケットがあれば切り取っておく。

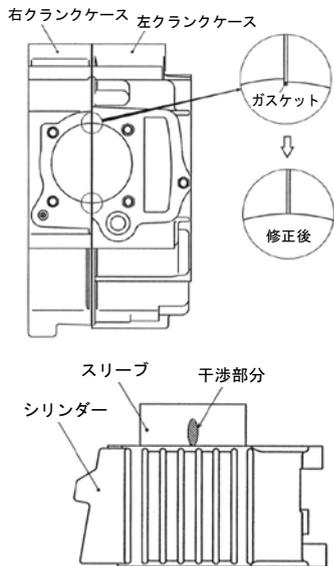


◎アルミシリンダー取り付け時の注意

◇左右クランクケースのズレ等により、シリンダーを取り付ける際、クランクケース合わせ面のスリーブ穴、丸印部分とシリンダースリーブの斜線部分及びケース内部で干渉する場合があります。そのままの状態で使用するとスリーブが変形しエンジントラブルの原因となりますので必ず点検、修正して下さい。

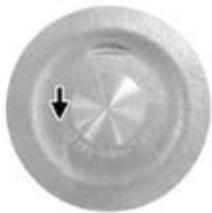
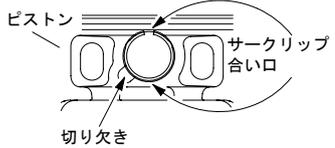
◎修正要領

1. クランクケース内に削り粉が入らないようにしっかりとウエスを詰める。
2. クランクケース合わせ面のズレの出っ張っている部分を引っ込んでい部分と同じ高さになるまでヤスリで削ります。
3. 削り取ったら削り粉がクランクケース内に入らないよう慎重にウエスを取り除く。
4. ウエスを取り除いた後は、きれいなウエスをクランクケースの穴に詰めておく。
5. キットの組立が終わって、エンジンをアイドリングで数分かけた後、すぐにエンジンオイルを新品に交換する。



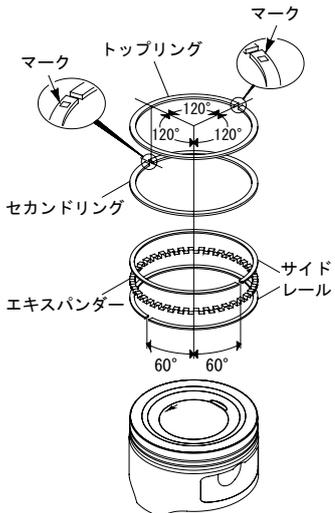
●S-Stageキット取り付け ○ピストンの組み付け

◇ピストンの片側に付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。この時、サークリップの合い口は切り欠き部を避けて、ピストン上下方向に向けて取り付け。

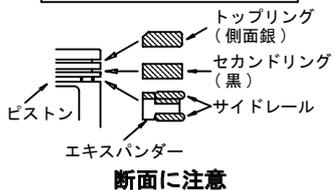


左側

- ◇ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられる。
- ◇ピストンリング溝にエンジンオイルを塗りピストンリングをオイルリングエキスパンダー、下オイルリングサイドレール、上オイルリングサイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。
- ◇ピストンリングの合い口をそろえる。



トップリングの上面及びセカンドリングの上面には印字があります。



◇オイルリングエキスパンダーを入れる。



◇下オイルリングサイドレールを入れる。



◇上オイルリングサイドレールを入れる。



◇文字面を上にしてセカンドリングを入れる。



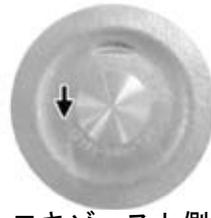
◇文字面を上にしてトップリングを入れる。



◇ピストンピン部とコンロッドにエンジンオイルを塗りピストンピンを取り付ける。



◇ピストンヘッド部矢印マークの先を下(エキゾースト側)になる様にしてピストンを取り付ける。

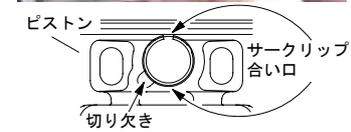


エキゾースト側

◇ピストンに三分の一程度ピストンピンを挿しておいて取り付けるのも簡単な方法ではある。



◇付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。この時、サークリップの合い口は切り欠き部を避けて、ピストン上下方向に向けて取り付け。

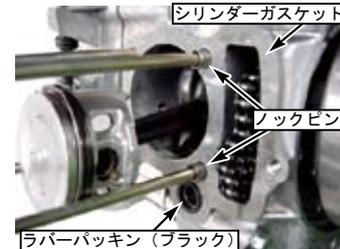


◇ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられる。
※押し込み中にサークリップが外れて飛んでしまう事があるので慎重に行う事。

◇詰めていたウエスを取り外す。

○シリンダーの取り付け

- ◇シリンダーベースガスケット面のシリンダー側とクランクケース側をシンナー等で脱脂する。
- ◇ノックピンB(長さ12mm)2個が付いているか確認し、シリンダーガスケットとラバーパッキン(ブラック)を1個取り付ける。



◇キットのシリンダー内にエンジンオイルを塗布し、指で均等に塗り広げる。



◇タイヤを押さえながらシリンダーを入れていく。



◇シリンダーをピストンリングの合い口がずれない様しながら指で押し少しずつはめる。



◇リングがシリンダーに入ったらカムチェーンをシリンダーに通しシリンダーをクランクケースにはめる。



◇カムチェーンを引っ張りながらガイドローラーを入れる。



◇シリンダーのガイドローラーボルト穴にガイドローラーのセンターが合う様に押し込み、シーリングワッシャとガイドローラーボルトを取り付ける。(指で閉まる程度まで仮止め)



◇シリンダーサイドボルトを取り付ける。(指でしまる程度まで仮止め)



○カムシャフトとロッカーアームの交換

◇シリンダーヘッドに組まれているロッカーアームのタペットナットとボルトを取り外す。
タペットナットを緩めた時点でタペットボルトをナットと一緒に取り外す。



◇ロッカーアームシャフトに8mmのボルトをねじ込み、ロッカーアームシャフトを抜いて、ロッカーアームを取り出す。



◇カムシャフトにカムスプロケットボルトを取り付け、引っ張るかプラスチックハンマーでヘッドを軽くたたくと抜けてくるので無理に引っ張らずカムシャフトを回しながら取り外す。



◇キット内のカムシャフトを逆の手順で取り付け。カムシャフト・カムシャフトベアリングにきれいなエンジンオイルを塗布する。入りにくくてもハンマー等でたたかず手で入れる。



◇ロッカーアームシャフトにきれいなエンジンオイルを塗布し、キット内のロッカーアームを取り付ける。



◇ノーマルカムのノックピンをキットのカムに取り付ける。



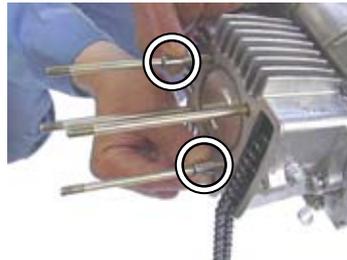
◇ロッカーアームのタペットスクリューを時計方向に回して取り付ける。



○シリンダーヘッド取り付け

◇シリンダーヘッド面とシリンダー上面をシンナー等で脱脂する。

◇シリンダーにノックピンを取り付けヘッドガスケットを取り付ける。



◇シリンダーヘッドにカムチェーンを通しながら取り付ける。



◇カムチェーンはシリンダーの方に落ちないようにカムシャフトの真ん中の穴にドライバー等を入れてカムチェーンを止めておく。



◇シリンダーヘッドカバーのガスケットとヘッドカバーを取り付ける。



◇矢印は下の方向です。

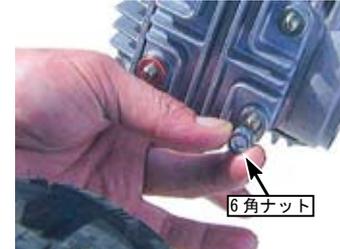


上下マークに注意

◇ヘッドカバーのワッシャとナットを取り付ける。(エンジンを前から見て左下が銅ワッシャ残りの3つは鉄ワッシャ、右下が6角ナット残りの3つが袋ナット)



銅ワッシャ



6角ナット

◇ヘッドナットを均等に締め付ける。(トルクレンチがない場合は対角に少しずつしっかり締める)

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ヘッドナット
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



◇ヘッドサイドボルトを取り付ける。先に仮止めしていたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ガイドローラーボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)
サイドボルト上下
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



○カムスプロケットの取り付け

◇フライホイールの「T」マークをクランクケースの切り欠き部に合わせる。



切り欠き

F T

◇カムスプロケットボルト穴をシリンダーヘッドの切り欠き方向に向けた時、カム山がピストン側を向く様にカムシャフトをセットする。それがカムシャフトの圧縮上死点です。

※オプションカム取り付けの場合、オプションカムの説明書の指示に従って下さい。



少しオイルが出てきますので締めた後は拭き取して下さい。

◇チェンジペダルのシャフトの横にある六角ボルトを取り外す。カムチェーンを引っ張っているテンショナーが緩むので、はめやすくなります。カムスプロケットをはめた後はボルトを取り付ける。カムチェーンにカムスプロケットを掛けながらカムスプロケットのOマークとシリンダーヘッドの切り欠き部が合う様にカムチェーンをはめてカムシャフトに取り付ける。



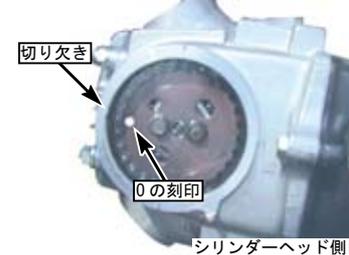
◇フライホイールを固定してカムスプロケットボルトを2本締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
カムスプロケットボルト
トルク：9N・m (0.9kgf・m)

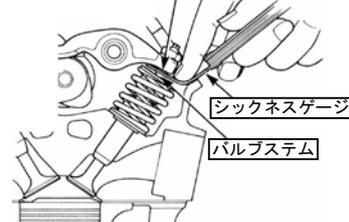
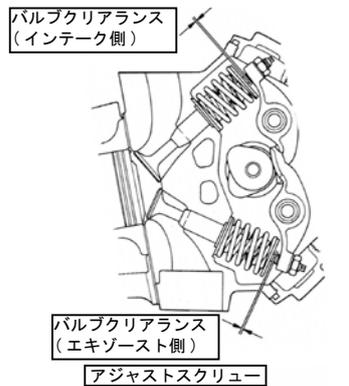


○バルブタイミング調整と タペット調整

◇カムシャフトのOマークとフライホイールのTマークがそれぞれの切り欠きに合う様に止める。磁石の反発でフライホイールはピッタリと止まらないが、カムスプロケットを取り付けて、TマークとOマークが同時に合えばOK。



◇ロッカーアームのアジャストスクリューとバルブステムエンドの間に0.05ミリのシクネスゲージを入れてアジャストスクリューを締め込んでいき、少し抵抗があるくらいでシクネスゲージが引き抜ける様に合わせてアジャストナットを締め付ける（少し抵抗があるというのがわからない場合0.07と0.03のシクネスゲージを用意して0.07がすき間に入らず0.03が緩めに入る様に合わせれば、だいたい0.05ミリという事になる）IN、EX 共に0.05ミリに合わせる。



◇タペット調整後、反時計方向にフライホイールを2回転手で回した後でTマークとOマークを合わせる。



◇タペットすき間が変化していないか点検しすき間が合っていればOK、くるっている場合は調整する。



◇タペットキャップ2個を取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
タペットキャップ
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



○シリンダーヘッド左カバー 取り付け

◇シリンダーヘッド左カバーガスケットと左カバーを取り付ける。（左サイドカバーがボルトを締めた時に右回りしないように回り止めを合わせる）



(回り止めを合わせる)

◇シリンダーヘッド右側の六角ボルト(矢印)を締める。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
六角ボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



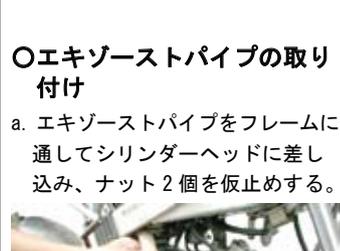
○スパークプラグの取り付け

◇車載工具かプラグレンチを使いプラグを取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
プラグ
トルク：11N・m (1.1kgf・m)



◇プラグキャップをプラグに取り付ける。



○エキゾーストパイプの取り付け

a. エキゾーストパイプをフレームに通してシリンダーヘッドに差し込み、ナット2個を仮止めする。

b. エキゾーストパイプをフレームにボルトで仮止めする。この時、フレームとエキゾーストパイプの間に、パッキンを入れておく。



c. マフラーをエキゾーストパイプに差し込み、フレームにボルトで仮止めする。



◇仮止めた箇所とマフラージョイントボルトを本締めする。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

a. ナット
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

b. c. ボルト
トルク：22N・m (2.2kgf・m)
マフラージョイントボルト
トルク：22N・m (2.2kgf・m)

◇シートの爪をタンクとフレームに引っかけ、ボルト部をフレームの穴に通してナットで取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

ナット
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

○キャブレターの取り付け

◇インレットパイプにOリングが付いている事を確認する。



◇インレットパイプを、シリンダーヘッドに2本のボルトで取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

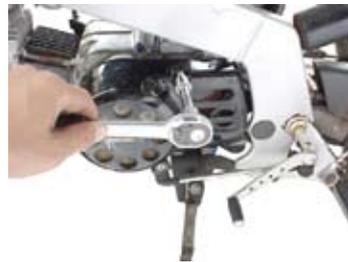


○クランクケース左カバーの取り付け

◇クランクケース左カバーを止めているボルト3本を取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



○フロントフェンダーの取り付け

◇フロントフェンダーを4本のボルトで取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



○各部チェック等

◇エンジンから足廻りまで取り付けしたボルト類に緩みがないかチェックする。

◇コックをONにし、エンジンをかけて5分程暖機運転をする。